

市民活動・ボランティア活動情報誌

2022年12月15日 No.205

## 福祉よこはま

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会

「福祉よこはま」は、横浜市が編集に協力しています

自治会館での「ささカフェ」が、公園での「青空カフェ」になった今





福祉の仕事 地域子育で支援拠点のスタップ ·········· p4

ボラセン情報

| ふだんのくらしのしあわせ〈学校編〉

~ 誰もが暮らしやすい地域を目指して ~ ⋯⋯ p5

市社協情報

ウィリング横浜 情報資料室 ·····・p6 第7回 よこはま地域福祉フォーラム \*\*\*\*\*\*\* p6

福祉よこはま 検索

福祉よこはま最新号と

## すぐそばで 自治会館での「ささカフェ」が、 公園での「青空カフェ」になった

## 人と人とが出会える場のために

~港南区・笹下台団地 シルバークラブ笹寿会の取組 ~

コロナ禍でも、人と人とのつながりを途切れさせないよう、港南区・笹下台団地※1の住民によりさまざまな取組が進められています。自治会館で開催してきた集いの場「ささカフェ」は、「青空カフェ」として場所と形を変えながら継続しています。おしゃべりや買い物を楽しみ、交流を広げてきたシルバークラブ笹寿会※2(小野順子会長、会員113人、以下「笹寿会」)の取組を紹介します。

- ※1 港南区北東部の小高い丘の上にある430世帯の団地
- ※2 笹寿会は令和4年11月に優良老人クラブとして厚生労働大臣表彰を受章されました。

#### 集いの場「ささカフェ」スタート!

団地住民の高齢化により見えてきた、孤立や孤独、病院や買い物等への外出困難、交流機会の減少といった課題。解決への第一歩は、 平成28年から始めた集いの場「ささカフェ」でした。

新型コロナウイルス感染症拡大前のカフェへの思いとコロナ禍でも大切にしてきた場の取組について、笹寿会前会長で相談役の岡田正紀さん、現会長の小野順子さんに聞きました。

#### 自治会館でのカフェの様子

笹寿会が週1回、自治会館を会場に開いていた「ささカフェ」は、団地に住んでいて外出がおっくうになりがちな人も参加する場でした。参加者は淹れたてのコーヒーを飲んで、自由な時間を過ごしていました。集まった人たちに対する見守り・安否確認になり、ゲームや合唱をすることで認知症予防の効果も期待できました(岡田)。

#### 🥙 自治会館から青空の下でのカフェ開催に

令和2年、新型コロナウイルス感染症対策の一環により、屋内で「ささカフェ」は開催できなくなりました。そこで、自治会館に代わる場として団地内の公園で高齢者が集まれる場「青空カフェ」を始めました。ちょうど移動販売が始まったので、同じ時間に椅子だけ準備をして開催するようになりました。買い物とおしゃべりが楽しみという人が多く、今では開店前にゲームをする人たちもいたり、若い親子連れも来ていたりとにぎやかな場所になっています(小野)。

#### 課題があるからこそアイデアや工夫が生まれます

カフェは高齢者の外出のきっかけとなる集いの場、移動販売は高台という立地により買い物が難しいという声に応えた取組です。

自分たちで新しいアイデアを出し、工夫をし、<mark>団地の住民同士でさりげなく</mark> 見守りあい、支えあっています</mark>(岡田、小野)。



笹寿会前会長・相談役 岡田 正紀さん



現会長 小野 順子さん





かフェ常連さんの意





ご近所さんを毎週誘って、行きも帰りもおしゃべりしています。いろいろな方と会えて幸せだと感じています。

この団地は規模が大きいですが、この場ができてからはたくさんの交流ができるようになりました。もっとたくさん人が集まると嬉しいです。

一人暮らしで足に不安もあるので、「ささカフェ」 には参加していませんでしたが、「青空カフェ」には お隣さんが声を掛けてくれて毎週通っています。

ここに来ると、「元気だったの?」とまわりの人と家族の話や世間話をしています。皆さんの笑顔を見られると本当によかったと思います。

朝、公園に集まり、ゲーム (モルック) や体操をしてから、甘いものを買って食べるのが楽しみです。コロナ禍で団地の人たちと話す機会が少なくなりましたが、この場では皆に会えて元気をもらっています。

「今日はあの人が来ていない」と心配していたら、その方のご近所さんから「今日は病院に行っているよ」と聞いて安心しました。 名前は分からなくても皆で気にかけあっていて、つながっていると感じています。









◆常連さんの顔が 見えるとほっと します。



民生委員・児童委員 小松 博明さん

#### 🦲 人が集まると笑顔の数が増えます

団地の民生委員として団地住民とはこれまで顔をあわせて話を聞いてきました。コロナ禍で電話で相談を受けることが増えましたが、本当はどなたも人と会って話をしたり、外に出かけたりしたいのだと思います。私たちにとっては会話は買い物と同じくらい重要なもので、「青空カフェ」ではレジに並びながら野菜の調理の方法を教えてもらったり、買った物を分けあったりして楽しんでいる姿があります。

月刊笹寿会だより▶ 会員同士のつながりづくりの一つ 住民のインタビュー記事は特に人気



## つながりの形はゆるやかに柔軟に

社会の変化とともに出てくる課題に対して、自分たちがやってみたいこと・面白そうなことに取り組み、形にしてきたからこそ今のつながりの形があるのだと思います。ゆるやかなつながりはお互いの気にかけあい・支えあいにつながっていきます。

区社協、地域ケアプラザも笹下台団地の取組を応援しています。



#### 【左から

港南区社協 山川さん、 港南中央地域ケアプラザ 深野さん、 港南区社協 西澤さん



#### ■地域子育て支援拠点のスタッフ

戸塚区地域子育て支援拠点「とっとの芽」施設長の

ふくもと まさみ

福本 雅美さん に聞きました

#### 未来の子どもたちのために、 みんなが子育てしやすいまちを 目指しています。

#### この仕事を始めたきっかけ

 大阪の出身です。夫の転勤で横浜へ移り出産しました。 妊娠中から子育てを楽しむために、ふっと行けて、子育て 中の人と出会える場所を探していました。その頃、横浜市 では全区に地域子育て支援拠点(以下、拠点)を作る動き が進められており、戸塚区も同様でした。自分にも役立て ることがあればと思い、ワークショップに参加したこと がきっかけでした。

#### 日々の仕事

スタッフとして働き始めて13年目になります。当初は時短勤務で主に広報紙の発行やホームページ、メルマガなどで子育て情報の発信などを担当してきました。3年前、施設長になり、子どもや家庭の支援に携わる機関や地域の人と顔が見えるネットワークづくりのため、今まで以上にあちらこちらに出向くようになりました。また、中学校や専門学校で拠点の説明をするなど、横浜市の子育て支援拠点の役割として大事にしている「人材育成」も行っています。

#### 心がけていること

拠点に来る親子を必ず笑顔で迎え、その親子のありのままを受け止めるようにしています。支援者だからと一方的に考えを押し付けず、子育て中の親が抱いている思いに耳を傾け、何がその人の子どもに合っているのかを探せるようにしています。仲間同士で相談してもらったり、ヒントになることを伝えたりして、子育てのお手伝いをする伴走者の立場を心がけています。

#### 喜び、やりがい

働き始めて10年が経った頃、娘が「社会科の授業で、 お母さんの仕事の説明をしてきた」と嬉しそうに話して くれました。子育て支援の仕事をする一方で、自分自身の 子育てとの両立に葛藤がありましたが、一番身近な存在 に認められたことがとても嬉しかったです。自分のため に始めた仕事でしたが、これからは子育て中の人たちの ために働こうという気持ちに変わる出来事でした。

#### 戸塚区地域子育て支援拠点「とっとの芽」

気軽に立ち寄れる『第二の実家』をコンセプトにした子育て支援施設。JR東戸塚駅徒歩3分。

利用 できる人 (要利用登録)

- プレパパ・プレママ
- ●0歳~未就学児とその家族
- ●子育て支援をしたい方

開館時間

**火曜日~土曜日 9:30~15:30** ※日曜日·月曜日·祝日休



とっとの芽 ホームページ



▲とっとの芽キャラクター「どんちゃん・ぐりちゃん」

#### 地域子育て支援拠点とは

就学前の子どもとその 保護者が遊び、交流するスペースの提供、子育て相談、 子育て情報の提供などを 行う子育て支援の拠点。全 区に設置。



利用登録制、無料

**支援拠点** 横浜市 ホームページ





▲とっとの芽の日常風景



▲いつも笑顔で、お待ちしています。

#### 子育て支援拠点に興味のある人へ

仕事は大変ですが、人として成長する中で、誰かを助けられると良いと思っています。開所から10年以上が経ち、「とっとの芽」を卒業した子どもや親が協力してくれるようになってきました。地域の人たちに助けられ支えてもらいながら、子育ての良い循環ができ始めています。

今後も未来の子どもたちのために、子育てしやすい環境を作っていきたいと思っていますので、興味があったら見学にいらしてください。

横浜市内の福祉人材に 関する求人情報 □==>

横浜市介護人材関連情報 ホームページ▶



### 報

# ふだんの

#### ~誰もが暮らしやすい 地域を目指して~ 学校編

社会福祉協議会では、地域の皆さんと一緒に福祉について学ぶことで、誰も が暮らしやすい地域づくりを目指す「福祉教育」を推進しています。

毎年、教職員の方々から児童・生徒に向けた福祉や地域をテーマとした授業 の相談がたくさん寄せられることを受けて、学校向けに作成した福祉教育の プログラム集についてご紹介します。

#### やってみよう! 福祉教育

#### ~実践のための様式&モデルプログラム集・



- 効果的な福祉教育を目指して
- 福祉教育プログラムを実施するための流れ
- モデルプログラムと実践事例の紹介
- 福祉の基礎知識
- 様式(相談シート、ワークシート等)

令和元年度(新型コロナウイルス感染拡大前) 市内小中高校での福祉教育実績:313件 ※横浜市内社会福祉協議会調整分のみ

#### 福祉教育とは?

#### 福祉を「ふだんのくらしのしあわせ」と捉え、 人々の幸せを考える教育です。



プログラム集 執筆協力 元学習院大学 文学部 教育学科教授 長沼 豊氏

「福祉」は二字とも幸せを表している言葉です。 福祉教育では、地域の人々の暮らしや生き方を考えるこ と、さらに言えば自分自身の幸せを考えることも大切です。 また、福祉教育は「出会いの学習」でもあります。人々 の幸せを考えるには、高齢者や障害者を含め、児童・生 徒とは異なる世代の人々、住んでいる環境が異なる人々 など多様な人々との出会いが必要となります。

このような学習を効果的に進めるためには、学校と地 域の連携・協働が欠かせません。

#### こんなモデルプログラムが載っています

- 高齢者デイサービスや高齢者サロンでの異世代交流
- パラスポーツ(障害者スポーツ)を通して、地域共生社会を考える
- ●赤い羽根共同募金を通して、自分たちの地域を知る
- 災害時に自分たちでできることを考える



#### 地域・学校・区社協の協働実践事例

横浜市立六浦小学校 (横浜市金沢区)

このプログラムは、小学4年生を対象に「地域の方と関わりをもてるような 授業を総合学習として行いたい」という学校の相談から始まりました。

子どもたちが地域で活動している方15名にインタビューを実施し、その 内容を福祉新聞にまとめることで、誰もが住みやすい地域をつくるために必要 なことを考えていくプログラムです。

#### それぞれの想い/〜

#### 学校

思いやりの心を 子どもたちに 地域への関心を 育みたい

もってほしい

#### 地域住民

福祉や地域の 支え合い活動について 知ってほしい

区社協

#### ■事前学習・事前説明会





福祉って何だろう? 自分たちの地域って どんなところ?

▲児童向けの授業の様子(左7月12日、右9月22日)

子どもたちから インタビューを受けてください

地域活動をしている方向けの説明会(10月21日)▶



#### 2 本番

全員が体育館に集まり、 子どもたちが4人一組で地域 の人にインタビューを実施 しました(11月21日)。



▲ご協力いただいた地域の皆さん





#### 今後の 3まとめ 福祉新聞の作成!

地域の皆さんに 向けて発表会



学校よりメッセージ

日頃からたくさんの地域の方々に支えられています。 地域の方々へのインタビューを通して、子どもたちにも自分が地域の一員であることを知ってもらいたいです。

#### 横浜市ボランティアセンターより

新型コロナウイルス感染拡大の影響がありましたが、学校からの福祉教育の依頼も少しずつ増え、 地域住民の方、ボランティア団体や障害当事者の方などにご協力いただき取り組んでいます。よりよい 地域づくりのために、これからも福祉教育を地域の皆さんと一緒に進めていきたいと思います。

各区福祉教育の 相談窓口

横浜市内18区 社会福祉協議会 ホームページはこちら



この記事に関する お問合せはこちら

横浜市 ボランティアセンタ



いってみよう! つかってみよう!



ウィリング横浜「情報資料室」は、福祉保健および関連分野の専門図書館です。 図書・資料・逐次刊行物・会報紙・広報誌・視聴覚資料の閲覧・視聴ができます! 福祉や医療に関わるマンガは、福祉を身近に感じるツールとしても人気が高く、要チェック! 今まで であったことのなかった本と巡りあえるかもしれません!

火曜日~土曜日 午前9時~午後9時 【開館時間】

日曜日・月曜日 午前9時~午後5時

【休館日】 毎月第2金曜日、年末年始 ※臨時休館あり 【利用登録】

神奈川県内在住・在勤・在学の方

福祉保健研修交流センターウィリング横浜 【お問合せ】

情報資料室 2045-847-6677

詳細はWEBサイトをチェック! → https://www.yokohamashakyo.jp/willing/info/



「探している本はあるかな?」 蔵書検索システムで いつでも検索できます!

#### **第7回 よこはま地域福祉フォーラム よりそい続ける つながりを育む~**「おたがいさま」のこころが紡ぐ豊かなまち~

誰もが孤立することなく自分らしく暮らしていくために、一人ひとりの想いに寄り添い、支えあえる 地域づくりに向けて、基調講演及び市内6つの実践報告を通して考えていきます。

基調講演 一人ひとりによりそえる地域へ~ともにいる日常を育む~

奥田 知志 氏(NPO法人 抱樸 理事長)

分科会

①緩やかに しなやかに気にかけあえるまちへ ~つながりの価値を見つめなおして~

②「私のまち」を「私たちのまち」に ~連携で広がる地域の可能性~

基調講演の講師 奥田 知志 氏▶



#### YouTube による録画配信

〈配信期間〉

令和5年2月1日(水) ~3月24日(金)

詳細はこちら▶



【問合せ】横浜市社会福祉協議会 企画部企画課 ☎045-201-2090

## みんなのきもち ありがとう

みなさまからお寄せいただいたご寄付は、地域の助けあい、 支えあい活動のため、有効に活用させていただきます。



#### よこはま ふれあい助成金 助成事業 特定非営利活動法人さくらんぼ(瀬谷区)

1997年の保育園立ち上げに始まり、学童保育、 地域子育て支援拠点、児童家庭支援センター、ヘル パー派遣事業など、地域のニーズに応えながら事業 に取り組んでいる団体です。「参加障害(※)のない 街づくり」を掲げ、どのような人も排除されることな く、その人らしく地域で暮らせることを目指した活動 をしています。

助成金を活用し、孤立しがちな子育て家庭を応援 するため、独自のヘルパー派遣事業やヘルパーの担 い手養成を行っています。

※物理的な障害や仕組み、慣習、風潮などで社会参加を 阻むこと



団体の ウェブサイト



ご支援・ご協力ありがとうございました。この寄付は「ヨコ寄付」の取組等で使われています。

寄付者への ありがとう メッセー

あたたかいご支援ありがとうございます。 ひと昔前は子育てを経験した祖父母が一 緒に暮らしていたり、ちょっとおせっかいな

気のいい近所のおじちゃん・おばちゃんがいたりというの が当たり前でしたが、今は核家族化が進み、初めての子育 てを1人で行う方も少なくありません。家事や子育てを経 験してきた先輩ママがヘルパーとなり、日常の不安や困り ごとも聞きながら、その人らしい子育てをしていけるように 家事・育児をサポートしています。共助の力で「孤育て」で はなく「子育て」ができる地域社会を目指して活動を続け ますので、今後ともよろしくお願い致します。

横浜市ボランティアセンターでは、寄付のご相談をお受けしています ☎045-201-8620

#### 寄付者のご紹介

#### 金銭寄付者

#### 〈個人〉

- ●井本 剛司 様
- ●平本 義則 様
- ●富士松 延治太夫 様

#### 〈企業・団体〉

- ●横浜信用金庫 理事長 大前 茂 様(3件)
- ●横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ 様
- ●KDDI 株式会社 南関東総支社 様
- ●吟楽会 様
- ●日本國風流詩吟 吟舞会 様
- ●浜住研 株式会社 様
- 〈匿名寄付〉(7件)

#### 物品寄付者

#### 〈企業・団体〉

●公益財団法人 みずほ教育福祉財団 理事長 塚本 隆史 様 (4件)

令和4年7月1日~9月30日受付分(受入順)

- ●公益財団法人 神奈川芸術文化財団 様 ●株式会社 セブン-イレブン・ジャパン 様
- ●KDDI 株式会社 南関東総支社 様
- ●横浜信用金庫 理事長 大前 茂 様
- ●一般社団法人 横浜サッカー協会 様
- ●日本音楽文化交流協会 様 ●横浜労働者福祉協議会 様
- ●一般社団法人 東日本大震災雇用・
- 教育·健康支援機構 様
- ●横浜農業協同組合 様 〈匿名寄付〉(↑件)

#### ヨコハマ寄付本寄付者

#### 〈個人〉

●日高 美代子 様

#### 〈企業・団体〉

- ●東工大横浜ベンチャープラザ 様
- ●日揮ホールディングス 株式会社 様

#### 〈横浜市社会福祉協議会運営施設〉

- ●横浜市保土ケ谷区社会福祉協議会 様
- ●横浜市社会福祉センター 利用者一同 様 (4件)
- ●横浜市麦田地域ケアプラザ 様
- ●福祉保健研修交流センター ウィリング横浜 様
- ●横浜市栄区社会福祉協議会 様
- ●横浜市神奈川区社会福祉協議会 様
- ●老人福祉センター 横浜市ユートピア青葉 横浜市もえぎ野地域ケアプラザ 様
- ●横浜市野毛山荘 様

〈匿名寄付〉(36件)



※ヨコ寄付は、「ヨコハマ で、すぐヨコへ。」をコン セプトに、本会への寄 付金を活用し、既存の 制度やサービスでは 対応ができない課題 の解決を目指す取組 です。

ついては こちら





No.204号で「ヨコハマ寄付本」、 「横浜信用金庫の寄付本の回収 BOX」について知りました。 まずは手軽に地域貢献活動がで きることをより多くの人に知っ てもらうことが大切であると感 じました。

(泉区 K.S)

最初は何気なく手にしたのですが、今では毎号いただいて います。いつもトップの記事が面白いですが、表紙の講師 ボランティアの方のいきいきとした表情が印象的でした。 編集後記の方が書かれているように、いつも色々なボラン ティアがあることを教えていただいています。自分も機会が あれば携わってみたいと思わせてくれる情報誌です。 福祉作業所の取り組み(作っているものや気軽に訪問できる 喫茶などあれば)の情報も知りたいです。

(港北区 Y.M)

さまざまな組織、人でつくる子どもによりそう学習支援 を読んで、コロナ禍だからこそ子どもたちを支えたい、 将来世の中に出ていくための知識を身に付けさせてあげ たいという気持ちからあつまって作られた組織、とても 素晴らしい事だと感動しました。

(横須賀市 Senri)

学校・地域コーディネーターや学習支援など、 自分が可能な範囲でできるボランティア活動 があるのを知ることができました。子どもの 通う学校ではどうか、調べてみたいと思いま

(緑区 K.N)

子どもによりそう学習支援に関して。新型コロナ 感染をきっかけに、子ども達の学びの機会が大き く変化しました。一人でも多くの子ども達が「夢 や希望」を叶えることの出来る、未来を明るく照ら すことが大切だと考えさせられました。

全ての子ども達に、教育を受ける「義務や権利」の 保証は、いつの日にも必要だと感じました。

(磯子区 Y.F)

る点セット

#### 「コインケース、マスクケース、 通帳サイズのポーチ」プレゼント!

JOBRICO(ジョブリコ)は横浜線中山駅から徒歩3分の ところにある障害者事業所です。手作り雑貨や地産地消 サンドイッチの製造販売などを行っています。また、地域 のイベントなどにも参加し地域の方たちとの関わりも大切 にしています。

ジョブリコ ホームページ▶



Instagram▶





色・柄はお任せください

- ○1 特集: 笹下台団地では、シルバークラブ笹寿会がコロナ禍でも、人と人とが 出会える取組を途切れさせることなく継続していました。自治会館で行っ ていたときは「ささ○○○」、公園で移動販売を呼ぶようになって「青空○ ○○」となりました。(同じ文字が入ります)(カタカナ3文字)
- 子育て相談、子育て情報の提供などを横浜市では「地域子育て支援〇〇」で 行っています。(漢字2文字)
- ○3 市社協情報:横浜市社協が開催する第7回「○○○地域福祉フォーラム」は、 誰もが孤立することなく自分らしく暮らしていくために、一人ひとりの想いに寄 り添い、支えあえる地域づくりを考える機会として開催します。(ひらがな4文字)

「みんなの声」に掲載された方を含め、抽選で15名の方に プレゼントを差し上げます。締切:令和5年1月31日(火)必着

はがき・FAX・Eメール・応募フォームにて、下に記載の 項目をご記入のうえお送りください。

応募先

〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1 横浜市社協「福よこクイズ」係 (FAX)045-201-8385 〈Eメール〉

▲「福よこクイズ」

fukuyoko@yokohamashakyo.jp

応募フォーム

- 1) Q1~3の答え 2) 郵便番号·住所 3) 氏名(ふりがな)
- 4)年齢 5)電話番号 6)福祉よこはまの入手方法
- 7) 福祉よこはまの感想
- 8) 「みんなの声」次号掲載時の氏名の掲載可否 (匿名希望の場合はイニシャルを記載)

#### 【個人情報取扱】

※応募に関わる個人情報については、当選者への発送及び福祉よこ はま紙面作成の参考にのみ利用させていただきます。

#### 〈Facebookのご案内〉

本会ボランティアセンター Facebookでは、ボラン ティア情報をはじめ福よこクイズで紹介した作業所 製品などを紹介しています。



前号204号の福よこクイズの答えは、Q1: 寄付 Q2: コーディネーター Q3: 助成金 でした。 たくさんのご応募ありがとうございました。

(特集)笹下台団地自治会館の窓からは、正面に富士山を見ることができまし た。自治会館でカフェをしていた頃、窓際は特等席だったそうです。皆さんが、 横浜市内で誰かにお薦めしたい富士山のビュースポットはありますか?

(福祉の仕事)福本さんはお子さんがまだ小さかった頃、大人と話す機会が ぐんと減ったことで言葉を忘れる感覚があり、「会話はすごく大事」だと実感 したそうです。子育て中で誰かと話したい方、仲間を見つけたい方も気軽に 地域子育て支援拠点にふっと立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

次号▶No.206 令和5年3月発行予定

〈発

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会 〒231-8482 横浜市中区桜木町 1-1 ☎045-201-2090

FAX:045-201-8385 Eメール: fukuyoko@yokohamashakyo.jp URL: https://www.yokohamashakyo.jp

株式会社 オールスタッフ

「福祉よこはま」は、共同募金配分金の 部を活用して発行しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT **G**OALS

横浜市社協は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

(広告)

#### アナタも身近な「見守りの担い手」に!



例えばご近所同士で契約トラブルの情報提供 消費者被害で困っていたら消費生活センターを案内

#### <u>高齢者に多い消費者トラブル</u>

- ①お試しのつもりが定期購入
- ②無料点検からの強引な屋根工事勧誘
- ③金融商品の甘い儲け話



#### 消費生活相談電話

TEL 845-6666

FAX.845-7720



横浜市消費生活総合センタ・

令和4年度

https://www.fukushihoken.co.jp

ふくしの保険

検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償



#### 保険金額・年間保険料(1名あたり) 団体割引20%適用済/過去の損害率による割増引適用

プラン保険金の種類			基本プラン	天災・地震補償 プラン	【新設】特定感染症 重点プラン
ケガの 補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円		
		外来の手術	32,500円		
	通院保険金日額		4,000円		
	特定感染症		補償開始日から10日以内は補償対象外 <sup>(*)</sup>		初日から補償
	地震・噴火・津波による死傷		×	0	0
賠償責任 の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		<b>5億円</b> (限度額)		
年間保険料			350円	500円	550円

商品パンフレットは コチラ



んくしの保険

\*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

#### <基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。

**◆年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。** 

例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

ボランティア行事用保険(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償(傷害保険)

福祉サービス総合補償 (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オブション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。 ●

#### 网体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL:03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。) この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

#### 取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F TEL: 03 (3581) 4667

受付時間:平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)